

イシダ杯

第51回びわこ少年剣道錬成大会 要項

- 1 趣 旨 県下の剣道を志す少年が一堂に会し、剣道指導の心構えを実践できる少年で、基本及び試合錬成を通して心身の錬磨と相互の交流を図るとともに、湖国の自然と文化を愛する人材を育成することを目的とする。
- 2 主 催 一般財団法人滋賀県剣道連盟 株式会社イシダ 東近江市剣道連盟
- 3 共 催 株式会社平和堂
- 4 後 援 滋賀県 滋賀県教育委員会 公益財団法人滋賀県スポーツ協会
朝日新聞大津総局 東近江市 東近江市教育委員会 東近江市スポーツ協会
滋賀県スポーツ少年団 東近江市スポーツ少年団 滋賀県武道会
BBCびわ湖放送株式会社
- 5 期 日 令和4年8月28日（日）
受 付 8時15分～8時45分
開会式 9時30分
- 6 会 場 東近江市 布引運動公園体育館
〒521-1225 東近江市今堀町581-11
TEL 0748-25-2633
- 7 参加資格 小学生のみ
- 8 錬成内容
 - (1) 基本錬成
参加者全員、本連盟が指名した指導者の指揮により行うこととし、審判員全員が元立ちとなって基本錬成を行うこととする。
よって、試合前の練習はこの基本錬成で行い、サブ道場を使用してのアップは行わないこと。
 - (2) 試合錬成
 - ア) 個人戦 3年生・4年生・5年生・6年生の男女別の8種別とし、トーナメント方式により行う。
 - イ) 団体戦 トーナメント方式により行う。
 - ウ) 試合の順序 個人戦終了後、団体戦を行う。
- 9 参加基準
 - 【個人戦】
 - ア) 1団体より各種別2名以内とする。
 - イ) 団体戦との重複出場は可とする。
 - ウ) 個人戦の選手変更は認めない

【団体戦】

- ア) 1 団体より 2 チーム以内とし、学年制限は設けない。
なお、男女混合は可とする。
- イ) 申込後に、選手変更が生じた場合は、大会当日、受付時に選手変更届書を提出する。交代選手のポジションは、変更のあった選手のポジションとする。
- ウ) チームが 5 名に満たない場合は、次のポジションとする。
- | | | | |
|-----|----|----|-------|
| 3 名 | 先鋒 | 中堅 | 大将 |
| 4 名 | 先鋒 | 中堅 | 副将 大将 |

10 試合方法

(個人試合)

- (1) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則と同細則」及び大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合は 3 本勝負、試合時間は 2 分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行い、先に 1 本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は 1 分区切りで、延長 3 回で 1 回 5 分間の休憩を取り勝敗が決するまで継続する。

(団体試合)

- (1) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則と同細則」及び大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合は 3 本勝負とし、試合時間は 2 分とする。
勝敗が決しない場合は、引き分けとする。
勝者数・取得本数が同じ場合は、代表者戦を行う。
代表者戦は 1 本勝負とし、試合時間は 2 分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行う。なお、延長に入ってから試合時間は 1 分区切りで、延長 3 回で 1 回 5 分間の休憩をとり勝敗が決するまで継続する。

11 参加方法

(1) 申込方法

所定の用紙（滋剣連様式第 9 号）を使用し、滋賀県剣道連盟事務局に直接申し込むこと。

※ 振込の利用明細書控え（コピー）を添付のこと。

(2) 参加料

申込みと同時に指定口座に振り込むこと。

- ・団体 1 チーム 5, 0 0 0 円
- ・個人 1 選手 1, 0 0 0 円

(2) 振込先

滋賀銀行守山北支店 普通預金口座番号 160522

口座名義 一般財団法人滋賀県剣道連盟

※ 参加費の振込者名は申込団体名とする。

※ 振り込みされた参加料は、返金出来ませんのでご承知ください。

(4) 申込先

〒524-0022

守山市守山4丁目7-20 辻田ビル2F

一般財団法人 滋賀県剣道連盟事務局 宛

(5) 申込締切日

令和4年7月1日（金）必着

12 組合せ 本連盟競技委員及び事務局において、抽選を行い決定する。

13 表彰

(1) 団体戦

- ① 優勝チームには、優勝トロフィー（持ち回り）及び1位から3位には、賞状を贈る。
- ② 株式会社イシダより、優勝チームには、優勝杯（持ち回り）が準優勝チームには準優勝杯（持ち回り）が贈られる。
- ③ 朝日新聞大津総局より、優勝チームには、優勝旗（持ち回り）および1位から3位には、賞状が贈られる。
- ④ びわ湖放送株式会社より、1位から3位には、賞状が贈られる。

(2) 個人戦

- ① 本連盟より、1位から3位には、賞状を贈る。
- ② 株式会社イシダより、優勝者には優勝トロフィーが贈られる。
- ③ 朝日新聞社より、1位から3位には、賞状が贈られる。
- ④ びわ湖放送株式会社より、優勝者には優勝楯および、1位から3位には、賞状が贈られる。

(3) その他 参加者全員に参加賞を贈る。

14 オーダー表

(1) 参加チームは各チームでオーダー表を作成し、申し込みと同時に提出すること。

(2) オーダー表作成にあたっての様式は以下の通りとする。

模造紙4分の1（縦27cm×横80cm）

※ チーム名と選手名を記入すること。

(オーダー表)

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
チ ー ム 名					

80 cm

27 cm

15 審判員

- (1) 各団体から選出された審判員および本連盟が委嘱した審判員。
- (2) 各団体から1名以上の審判員を必ず選出すること（五段以上65歳以下）
*注) 団体戦に2チーム出場する団体は2名選出すること。
- (3) 監督は、審判員を兼ねることはできない。
- (4) 服装については、剣道着・袴とする。
- (5) 審判旗の持参のこと

16 安全対策

- (1) 主催者は、大会中の事故に対し、傷害保険に加入する。事故が発生した時には応急処置を施すとともに、病院等で治療が受けられるよう手配する。ただし、会場への往復途上は含まない。
- (2) 監督は、選手を引率し、会場への往復途上、試合中の各種事故防止および健康管理（熱中症対策等）に責任を負うこと。

17 その他

- (1) 各選手は、剣道具の垂中央に黒または紺色に白で所属団体名を明記した布製の名札を必ず着けること。
- (2) 目印は、各自で用意すること。
- (3) 申込書に記載された個人情報（氏名、生年月日、年齢及び住所等）は、本連盟が実施する大会運営のために利用する。
入賞された方で公表を拒否される方は、事前に申し出てください。
- (4) 竹刀検量は行わないが、規格にあった竹刀を使用し、自主点検を徹底すること。
- (5) 不明な点は下記へ問い合わせること。

〒524-0022

守山市守山4丁目7-20 辻田ビル2F

一般財団法人 滋賀県剣道連盟事務局

TEL 077-514-3165

FAX 077-514-3178

びわこ少年剣道錬成大会申し合せ事項

1 開会式について

- (1) 受付が終了したチームは更衣後、8時45分までに試合場に集合し係員の指示に従ってください。
- (2) 監督は選手を速やかに整列させる。入場行進は選手のみとする。
- (3) 集合する時は、剣道着、袴、胴、垂れをつけて集合すること。
- (4) 集合時に、各チームの団旗は持って入らないこと。

2 基本錬成について

- (1) 基本錬成は、全員参加すること。
- (2) 基本錬成は、剣道具をつけて、切り返し、打込み稽古等を中心に行う。
- (3) 審判員は、全員元立ちとして参加すること。

3 試合錬成について

- (1) 基本錬成終了後、個人戦を一斉に開始する。
- (2) 個人戦出場者は、自分の出場会場を確認し、補助役員の指示に従うこと。
- (3) 団体戦整列時は、全員面、小手をつけ、竹刀を携行すること。

4 安全管理

- (1) 選手の健康管理については、万全を期すこと。
- (2) 剣道具等の着装は、正しく行うこと。
- (3) 竹刀検量は行わないが危険防止のため、監督及び選手は徹底して竹刀の点検を行うこと。

5 その他

- (1) 各選手は、剣道具の垂中央に黒または紺色に白で所属団体名を明記した布製の名札を必ず着けること。
- (2) 目印（紅・白）は、各参加団体で準備すること。
- (3) 面紐の長さは、結び目より40cm以内とする。
結び目は物見の真後ろとする。
面紐の長いものは、切断することがある。
- (4) 監督の服装は、審判員の服装に準じ、必ず監督証を明示すること。
- (5) 監督以外の試合場への入場を認めない。
- (6) 応援は、指定された場所で行うこと。
各団体の監督は、責任を持ってこれを徹底すること。
- (7) サブ道場については、基本錬成終了後各監督の責任のもと、他チームとの練習試合に使用してもよい。